



広島市医師会執行部ニュース VOL. 5

桜の季節になりました。広島県に発出されていた「まん延防止等重点措置」は解除されましたが、新型コロナウイルスは人類を脅かし続けています。

そして、今この時もロシアによるウクライナ侵攻が止むことはありません。戦地ウクライナでは新型コロナウイルスはどこまであるかわかりませんが、ウクライナ避難民の列車は、新型コロナウイルス感染者の車両を分けて走っているそうです。

遠く離れた日本の地では、“戦闘”は行われていませんが、社会経済的には第3次世界大戦という“戦争”がすでに始まっているといっても過言ではありません。

さて、新型コロナウイルスについては、一人一人が基本的な感染対策を徹底し感染予防に努めること、抗ウイルス薬を適切かつ迅速に投与すること、そしてワクチンを早く、広く、より多く接種することの三本柱で戦い続けることになりそうです。

東日本大震災から11年、まだ道半ばとは言え、映像から見るめざましい復興の様子をみるにつけ、被災されながらも復興に向けて尽力された方々に心より敬意を表します。

そして被爆から77年、復興を遂げた広島市の市民として、また医療に携わる者として、世界平和の実現のために今できることは何か、一人一人が真剣に向き合い考えるときだと思えます。

一般社団法人 広島市医師会会長 佐々木 博

1. ロシアによるウクライナ侵攻に対し、長崎市医師会とともに抗議文を公表するとともに、岸田総理大臣に書簡を送付しました

本会広報委員会委員の先生方より、6月号の医師会だよりの企画を検討されるなかで、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を取り上げてはどうかとの意見が多く寄せられました。

広報部としては、委員の先生方の思いを受け止めつつも、軍事侵攻はまさに今行われているため、6月まで待つのではなく、現時点で広島市医師会としてウクライナ情勢に対する意思表示を行うことに関し、令和4年3月3日開催の第79回常任理事会において、協議を行うことといたしました。

協議の結果、広島市医師会として抗議文を發表すること、抗議文は長崎市医師会のご了解を得られれば両医師会連名とすることが承認され、常任理事及び事務局により素案を作成しました。

直ちに長崎市医師会とともに内容を再検討し、3月11日に本会ホームページのトップページに公開するとともに、3月16日には岸田総理大臣にも書簡を送付いたしました。同抗議文は次のとおり医師会だより3月号にも掲載しておりますので、ぜひご一読ください。

さらに、3月10日開催の第80回常任理事会において、医師会だより3月号の表紙の全面にウクライナの国旗を掲載することが承認されました。

また、ウクライナにおいて、この度の軍事侵攻により多くの方々に多大なる被害が出ていることが連日報道されています。このため、日本医師会はウクライナ国民に対する医療支援を目的とし、1億円を寄附されることとなりました。同医療支援金については都道府県医師会、市郡地区医師会にも協力依頼があり、本会もこの趣旨に賛同し、50万円を寄附することといたしました。

広島市医師会と長崎市医師会は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻及び核兵器使用の示唆、核関連施設への攻撃と占拠という暴挙に強く抗議する

世界で唯一の被爆国である日本の被爆地ヒロシマ、ナガサキで、被ばく医療に携わる医師として、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻及び核兵器の使用を示唆するこの度の暴挙に強く抗議するとともに、何の罪もない子どもたちを含む、多くの一般市民の命を無差別に奪う行為を、医師として、また人として、決して許すことはできない。

プーチン大統領は、「世界で最も強力な核保有国の一つ」と発言して、核兵器の使用を示唆し、ウクライナにとどまらず世界中の国々を威嚇した。さらには、原子力発電所や核研究施設を攻撃し、占拠した。

このような行為は、ヒロシマ、ナガサキで今もなお被ばく後遺症に苦しむ人々への侮蔑であり、核兵器のない平和な世界の実現を目指す国際社会の努力を踏みにじるものである。

一刻も早く侵攻を中止し、国際社会の声に耳を傾け、平和的解決を進めるよう強く要請する。
No More Hiroshima. No More Nagasaki. No More Hibakusha.

2022年3月

広島市医師会

長崎市医師会

2. 広島医師会館で新型コロナウイルスワクチン集団接種を行います

昨年9月から11月まで実施した集団接種では、日中に接種を受けにくい企業等にお勤めの方をはじめ多くの市民の皆様のワクチン接種を行うことができました。

会員及び職員の皆様には自院の診療がお忙しい中にもかかわらずご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

3回目接種がなかなか進まない中、本会としても接種を推進する役割があること、また企業等から3回目のお問い合わせをいただいたことから、このたび3回目接種を実施することになりました(第80回常任理事会にて承認)。

令和4年4月8日(金)から計7日間、1日当たり180名の定員で行う予定です。詳細が決まりましたら、本会ホームページ等で改めてお知らせいたします。

今後、広島市の集団接種会場における予約状況をみながら、継続するかどうかを検討する予定です。

一般社団法人広島市医師会 総務広報課

広島市西区観音本町1-1-1

電話:082-232-7321 FAX:082-292-5233